

沖縄地方の天候

2025 年（令和 7 年）

令和 8 年 1 月 15 日 沖縄気象台

2025 年（令和 7 年）の沖縄地方の天候

天候の特徴	1
1 2025 年の気温・降水量・日照時間	2
2 天候の経過	3
3 梅 雨	15
4 台 風	17

【参考資料】

1 2025 年の沖縄地方における旬平均気温 ・旬降水量・旬間日照時間の推移	23
2 統計開始からの記録更新表	24
3 生物季節観測表	29

※本報告は令和 8 年 1 月 14 日時点の資料で作成したものです。

本件担当：沖縄気象台 地域防災推進課
お問い合わせ先：098－917－7921

2025 年（令和 7 年）の沖縄地方の天候

天候の特徴

- ・ 沖縄地方の年平均気温の地域平均平年差は+0.4℃で高く、統計を開始した1946年以降、6 番目に高かった。特に、秋に暖かい空気に覆われやすく、気温の高い日が多かったため、9 月、10 月及び秋（9 月～11 月）の沖縄地方の平均気温は、いずれも統計を開始した1946年以降、最も高い値を更新した。真夏日の年間日数は、那覇、名護、久米島、宮古島、西表島で統計開始以降最も多く（1 位タイを含む）、真夏日の連続日数は、久米島、西表島、与那国島で統計開始以降最も長かった。また、10 月 2 日に宮城島で35.0℃を観測し、沖縄地方としては初めて10 月に猛暑日を記録した。
- ・ 沖縄地方の年降水量の地域平均平年比は101%で平年並だった。8 月上旬から10 月中旬にかけては少雨の状態が続き、特に先島諸島では平年の 2 割程度の降水量となった。一方で、10 月中旬から下旬や11 月中旬には、記録的な大雨となった所があった。
- ・ 沖縄地方の梅雨入りは5 月 5 日ごろ（平年は5 月10 日ごろ）で早かった。梅雨明けは6 月 7 日ごろ（平年は6 月21 日ごろ）で、統計を開始した1951年以降、最も早かった。
- ・ 台風第 1 号は6 月11 日に発生し、統計を開始した1951年以降、5 番目に遅い記録となった。台風の年間発生数は27 個（速報値）で平年並（平年は25.1 個）だった。沖縄県への台風の年間接近数は7 個（速報値）で平年（平年は7.7 個）と同程度であったが、沖縄地方で暴風警報の発表はなかった。

1 2025 年の気温・降水量・日照時間

沖縄地方の年平均気温の地域平均平年差は+0.4℃で高く、年降水量の地域平均平年比は101%で平年並となり、年間日照時間の地域平均平年比は107%でかなり多かった。

表1 2025 年の平均気温、降水量及び日照時間

	気 温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降 水 量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	23.8	+0.5	+	2165.0	100	0	1854.4	107	+
名 護	23.3	+0.5	+	1865.5	88	-	1880.6	108	++
久 米 島	23.7	+0.5	+	2155.0	96	0	1945.8	113	++
南大東島	23.7	+0.2	+	2433.0	148	++	2070.6	98	-
宮 古 島	24.2	+0.4	+	1831.5	88	-	1763.8	101	0
石 垣 島	24.8	+0.3	+	2354.5	112	+	1965.1	106	+
西 表 島	24.3	+0.4	+	2427.0	108	+	1790.2	104	0
与那国島	24.4	+0.4	+	2681.5	115	+	1702.1	109	+
沖縄地方	— — —	+0.4	+	— — —	101	0	— — —	107	++

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

〃〃付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

〔なお、沖縄地方の平均気温、降水量等の気象要素の地域平均平年差(比)は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における平均気温、降水量等の気象要素の平年差(比)を7地点平均することにより算出している。〕

年内での旬推移のグラフについては、「【参考資料】2025年の沖縄地方における旬平均気温・旬降水量・旬間日照時間の推移」を参照ください。

2 天候の経過

(1) 1 月

沖縄地方は、中・下旬を中心に、この時期としては高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日があり、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、寒気の影響を受けやすかったため、低かった。沖縄地方の降水量は少なかった。一方、低気圧の影響を受けやすかった南大東島では多かった。沖縄地方の日照時間は多かった。

表 2 1 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	16.8	-0.5	-	95.5	94	0	113.4	122	+
名 護	15.9	-0.6	-	76.5	79	0	117.0	124	+
久 米 島	16.7	-0.3	0	115.0	83	0	112.1	149	++
南大東島	17.8	-0.2	0	103.0	134	+	103.0	85	-
宮 古 島	17.9	-0.4	-	55.5	40	-	101.1	118	+
石 垣 島	18.0	-0.9	--	69.0	51	-	103.6	122	+
西 表 島	17.8	-0.7	-	86.5	53	-	78.0	109	0
与那国島	17.7	-0.8	--	102.5	55	-	68.6	130	+
沖縄地方	- - - -	-0.6	-	- - - -	65	-	- - - -	125	+

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(2) 2 月

沖縄地方は、中・下旬を中心に高気圧に覆われて晴れる日もあったが、気圧の谷や前線、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、上・下旬を中心に強い寒気の影響を受けたためかなり低く、宮城島、安次嶺、北大東、旧東、盛山では月平均気温の低い方からの2月の極値を更新した。沖縄地方の降水量は平年並だった。沖縄地方の日照時間は少なかった。

表3 2月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	16.0	-1.5	--	76.0	66	-	65.7	71	-
名 護	15.3	-1.5	--	81.5	74	0	65.5	72	-
久 米 島	15.9	-1.4	--	156.0	110	+	52.6	66	-
南大東島	16.9	-1.2	--	69.0	86	0	80.1	67	--
宮 古 島	17.3	-1.3	--	118.0	98	0	61.1	68	-
石 垣 島	18.0	-1.4	--	127.5	103	0	71.4	78	0
西 表 島	17.7	-1.3	--	103.5	71	-	55.5	67	-
与那国島	17.8	-1.2	-	108.5	66	0	50.2	83	0
沖縄地方	-----	-1.4	--	-----	84	0	-----	72	-

（注）平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

〃〃付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(3) 3 月

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は平年並だったが、中旬は強い寒気の影響を受けた日があった一方で、上旬と下旬は暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温の変動が大きかった。沖縄地方の降水量は多く、石垣島で平年の2倍を超えるなど八重山地方の地点ではかなり多かった。沖縄地方の日照時間は平年並だった。

表 4 3 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.4	+0.3	0	87.5	61	-	115.2	100	0
名 護	18.9	+0.4	0	120.5	86	0	111.3	99	0
久 米 島	19.0	0.0	0	163.5	84	0	100.7	94	0
南大東島	19.5	0.0	0	134.5	160	+	164.5	107	0
宮 古 島	20.1	0.0	0	175.5	127	+	117.3	101	0
石 垣 島	20.7	-0.2	0	272.0	202	++	128.3	109	0
西 表 島	20.4	+0.2	0	233.5	159	++	124.6	116	+
与那国島	20.5)	0.0	0	272.5	166	++	119.1	135	+
沖縄地方	-----	+0.1	0	-----	126	+	-----	108	0

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(4) 4 月

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、期間の前半を中心に寒気の影響を受けたため、低かった。沖縄地方の降水量は平年並だったが、低気圧や前線の影響で大雨の日があった南大東島では、降水量が平年の 2 倍程度となり、かなり多かった。沖縄地方の日照時間は多かった。

表 5 4 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	20.5	-1.0	-	172.0	107	0	149.8	124	+
名 護	20.1	-0.8	-	206.0	128	+	155.3	128	++
久 米 島	20.5	-1.0	-	212.0	108	+	149.9	127	+
南大東島	20.8	-0.8	-	221.0	195	++	169.5	111	+
宮 古 島	21.8	-0.7	-	157.5	106	0	133.3	108	+
石 垣 島	23.0	-0.4	0	78.0	53	-	147.9	114	0
西 表 島	22.6	-0.2	0	93.5	59	-	143.7	116	0
与那国島	23.0	0.0	0	175.0	114	0	128.8	123	+
沖縄地方	- - - -	-0.6	-	- - - -	96	0	- - - -	120	+

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(5) 5 月

沖縄地方は、上旬や下旬は前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があったが、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあった。

沖縄地方の平均気温は平年並だった。寒気の影響を受けた時期もあった一方で、中旬から下旬前半は暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温の変動が大きかった。沖縄地方の降水量は多く、特に、南大東島では降水量が平年の 2 倍程度となり、かなり多かった。沖縄地方の日照時間は平年並だった。

なお、沖縄地方は 5 月 5 日ごろに梅雨入りしたとみられ、平年より 5 日早く、昨年より 16 日早かった。

表 6 5 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.4	+0.2	0	325.0	132	+	136.8	99	0
名 護	23.8	0.0	0	234.5	107	0	137.5	101	0
久 米 島	24.3	+0.1	0	396.0	152	+	126.6	93	0
南大東島	24.5	+0.4	+	439.5	198	++	140.5	82	-
宮 古 島	25.4	+0.4	+	231.0	104	0	138.9	93	0
石 垣 島	25.9	0.0	0	335.5	176	+	176.6	107	0
西 表 島	25.8	+0.3	+	212.5	121	+	173.2	104	0
与那国島	26.0	+0.6	+	319.5	154	+	127.5	90	0
沖縄地方	—	+0.2	0	—	135	+	—	98	0

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(6) 6 月

沖縄地方は、上旬の中頃までは梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。その後は太平洋高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多かった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気に覆われやすかったため高く、沖縄本島地方の地点ではかなり高かった。宮城島や安次嶺では、月平均気温の高い方からの 6 月としての極値を更新した。沖縄地方の降水量は少なく、日照時間は多かった。

なお、沖縄地方は 6 月 7 日ごろに梅雨明けしたとみられ、平年より 14 日早く、昨年より 13 日早かった。統計を開始した 1951 年以降、最も早い梅雨明けとなった。

表 7 6 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	28.6	+1.4	++	177.5	62	-	189.5	119	+
名 護	28.2	+1.3	++	114.0	39	-	207.3	136	++
久 米 島	28.6	+1.4	++	50.0	16	--	236.5	149	++
南大東島	27.4	+0.5	+	62.5	31	-	272.0	124	+
宮 古 島	28.6	+0.9	+	214.5	110	0	225.5	118	+
石 垣 島	29.3	+0.9	+	113.0	54	-	241.9	114	+
西 表 島	28.6	+0.8	+	203.0	109	0	218.0	107	0
与那国島	28.7	+0.8	+	102.5	63	-	211.1	116	+
沖縄地方	-----	+1.1	+	-----	65	-	-----	123	+

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(7) 7 月

沖縄地方は、上・中旬は台風第 4 号及び第 6 号周辺や熱帯低気圧周辺、高気圧のへりを回り込む湿った空気の影響を受け、また下旬は台風第 7 号及び第 8 号の影響を受けたため、期間を通して曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は平年並だった。沖縄地方の降水量は多く、24 日から 28 日に記録的な大雨となった南大東島では平年の 8 倍程度とかなり多かった。大東島地方の南大東島、北大東、旧東では、月降水量の多い方からの通年としての極値を更新した。沖縄地方の日照時間はかなり少なく、与那国島と南大東島では月間日照時間の少ない方からの 7 月としての極値を更新した。

表 8 7 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	29.0	-0.1	0	460.0	245	++	162.9	72	--
名 護	28.8	-0.1	-	359.5	197	+	161.3	68	--
久 米 島	29.3	+0.3	0	190.5	123	0	200.4	80	-
南大東島	28.1	-0.6	-	939.0	796	++	144.0	52	--
宮 古 島	28.8	-0.1	0	256.0	169	+	163.8	68	--
石 垣 島	29.5	-0.1	0	175.5	123	0	194.2	74	--
西 表 島	28.8	-0.1	0	200.5	156	+	176.1	69	--
与那国島	28.8	-0.1	0	345.0	275	++	183.5	71	--
沖縄地方	—	0.0	0	—	184	+	—	72	--

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(8) 8 月

沖縄地方は、月を通して太平洋高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったが、台風第 11 号や熱帯低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、高かった。沖縄地方の降水量はかなり少なく、宮古島と波照間では月降水量の少ない方からの 8 月の極値を更新した。沖縄地方の日照時間はかなり多かった。

表 9 8 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	29.5	+0.5	+	223.5	93	0	256.4	124	++
名 護	29.4	+0.6	+	133.5	50	-	246.2	116	+
久 米 島	29.4	+0.5	+	87.0	44	-	266.7	115	+
南大東島	28.7	+0.1	0	63.0	42	-	275.7	111	+
宮 古 島	29.2	+0.6	+	41.0	16	--	261.1	124	++
石 垣 島	30.0	+0.6	++	33.5	13	--	287.5	123	++
西 表 島	29.1	+0.6	++	51.5	18	--	275.7	126	++
与那国島	28.8	+0.1	0	90.5	42	-	263.2	116	+
沖縄地方	-----	+0.5	+	-----	39	--	-----	121	++

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(9) 9 月

沖縄地方は、上空の寒気や湿った空気により大気の状態が不安定となった影響で局地的な大雨となった所もあったが、月を通して太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気に覆われやすく晴れた日が多かったため、地域平均平年差は+1.6℃とかなり高く、1946 年の統計開始以降、9 月として最も高かった。また、那覇、名護、久米島、宮古島、与那国島など多くの地点で月平均気温の高い方からの 9 月の極値を更新した。沖縄地方の降水量はかなり少なく、久米島や与那国島などでは月降水量の少ない方からの 9 月の極値を更新した。沖縄地方の日照時間はかなり多かった。

表 10 9 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	29.7	+1.8	++	92.0	33	－	240.4	133	++
名 護	29.4	+1.8	++	54.5	23	－	244.4	133	++
久 米 島	29.7	+2.0	++	19.5	8	――	280.6	141	++
南大東島	28.7	+0.8	+	57.0	34	－	268.0	122	++
宮 古 島	29.2	+1.6	++	53.5	21	――	205.2	114	+
石 垣 島	29.8	+1.6	++	102.5	39	－	253.4	133	++
西 表 島	28.7	+1.1	++	118.5	44	－	225.7	122	+
与那国島	29.0	+1.5	++	40.5	14	――	246.8	136	++
沖縄地方	――	+1.6	++	――	26	――	――	130	++

（注）平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、－：低い(少ない)、――：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が 10 個ずつになる）ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10%（3 位まで）に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

”)”付きの値は準正常値（統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている）を意味する。

(10) 10 月

沖縄地方は、上・中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、大東島地方では大雨や荒れた天気となった所もあった。下旬は前線や熱帯低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となり、記録的な大雨となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気に覆われやすく、上・中旬には晴れた日が多かったため、地域平均平年差は+2.3℃とかなり高くなり、1946 年の統計開始以降、10 月として最も高かった。大東島地方を除く全ての地点で月平均気温の高い方からの 10 月の極値を更新した。沖縄地方の降水量は多く、西表島と大原では月降水量の多い方からの 10 月としての極値を更新した。また、波照間と盛山では月降水量の多い方からの通年の極値を更新した。沖縄地方の日照時間は多かった。

表 11 10 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	28.0)	+2.5	++	209.0)	117	+	184.5)	113	+
名 護	27.5	+2.5	++	158.5	86	0	170.4	103	0
久 米 島	27.8	+2.5	++	175.0	115	+	187.9	116	+
南大東島	27.7	+1.8	++	170.5	94	0	196.6	110	+
宮 古 島	27.6	+2.1	++	197.0	125	+	162.7	107	0
石 垣 島	28.1	+2.1	++	617.0	292	++	185.5	118	+
西 表 島	27.4	+2.0	++	697.0	327	++	173.9	125	+
与那国島	27.5	+2.1	++	425.5	178	+	172.8	131	+
沖縄地方	-----	+2.3	++	-----	177	+	-----	116	+

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(11) 11 月

沖縄地方は、前線や台風第 26 号から変わった低気圧、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、記録的な大雨や荒れた天気となった所があったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

沖縄地方の平均気温は、期間の前半を中心に暖かい空気に覆われやすかったため高かった。沖縄地方の降水量はかなり多く、久米島と北原では月降水量の多い方からの 11 月としての極値を更新した。沖縄地方の日照時間は平年並だった。

表 12 11 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	23.4	+0.9	+	165.0	139	+	132.9	109	+
名 護	22.5	+0.6	+	247.0	207	++	148.4	119	+
久 米 島	23.2	+0.8	+	472.0	364	++	142.1	131	++
南大東島	23.6	+0.5	+	123.5	102	0	131.0	96	0
宮 古 島	24.0	+0.9	+	127.0	91	0	115.2	103	0
石 垣 島	24.1	+0.5	+	160.5	116	+	88.9	77	-
西 表 島	23.7	+0.6	+	295.0	153	+	79.3	82	-
与那国島	23.7	+0.6	+	375.5	169	++	79.0	92	0
沖縄地方	-----	+0.7	+	-----	177	++	-----	102	0

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

”)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(12) 12 月

沖縄地方は、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、その後は低気圧や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、冬型の気圧配置が長続きせず寒気の影響を受けにくかったため高かった。沖縄地方の降水量は平年並だったが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすかった宮古島、石垣島、与那国島では多かった。沖縄地方の日照時間は平年並だった。

表 13 12 月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	20.1	+1.1	+	82.0	75	0	106.9	100	0
名 護	19.2	+1.0	+	79.5	72	-	116.0	107	0
久 米 島	20.2	+1.2	+	118.5	88	0	89.7	100	0
南大東島	20.6	+0.9	+	50.5	40	-	125.7	104	0
宮 古 島	20.8	+0.8	+	205.0)	139	+	78.6	85	-
石 垣 島	21.3	+0.8	+	270.5	174	+	85.9	96	0
西 表 島	21.1	+1.1	+	132.0	75	0	66.5	94	0
与那国島	21.1	+1.0	+	324.0	161	+	51.5	87	0
沖縄地方	-----	+1.0	+	-----	112	0	-----	96	0

(注) 平年値の統計期間は 1991～2020 年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」、の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1991～2020 年の下位または上位 10% (3 位まで) に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

3 梅 雨

- (1) 梅雨入り：5月5日ごろ（平年：5月10日ごろ、2024年：5月21日ごろ）
- (2) 梅雨明け：6月7日ごろ（平年：6月21日ごろ、2024年：6月20日ごろ）
- (3) 特徴

沖縄地方の梅雨入りは5月5日ごろで早かった。沖縄地方の梅雨明けは6月7日ごろでかなり早く、統計を開始した1951年以降で最も早い記録となった。梅雨明けが早かった要因として、偏西風が日本付近で平年よりも北に偏って流れたことや、太平洋高気圧が平年より早く日本付近に張り出したことにより、梅雨前線が本州付近まで北上したためと考えられる。

梅雨期間中は、5月中旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、梅雨前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所もあった。特に、5月10日は仲筋で183.5ミリの日降水量を観測し、5月の極値を更新するなど、沖縄地方の各地で記録的な大雨となった。また6月4日は宮古島地方で記録的な大雨となり、城辺で193.0ミリ、鏡原で150.0ミリ、下地島で111.5ミリの日降水量を観測した。

梅雨の時期（5月～6月）における降水量の地域平均平年比は99%で平年並だった。梅雨の時期の日照時間は、梅雨明けがかなり早かったため、全ての観測点で平年を上回り、地域平均平年比は111%だった。

表 14 2025 年の梅雨の時期（5 月～6 月）の降水量

地点	5 月の降水量		6 月の降水量		5 月～6 月（2 か月間）		
	降水量(mm)	平年値(mm)	降水量(mm)	平年値(mm)	降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
那 覇	325.0	245.3	177.5	284.4	502.5	529.7	95
名 護	234.5	220.1	114.0	291.7	348.5	511.8	68
久 米 島	396.0	260.3	50.0	307.4	446.0	567.7	79
南大東島	439.5	222.0	62.5	199.6	502.0	421.6	119
宮 古 島	231.0	222.3	214.5	194.7	445.5	417.0	107
石 垣 島	335.5	190.7	113.0	208.2	448.5	398.9	112
西 表 島	212.5	175.6	203.0	186.3	415.5	361.9	115
与那国島	319.5	207.3	102.5	162.3	422.0	369.6	114
沖縄地方							99

表 15 2025 年の梅雨の時期（5 月～6 月）の日降水量 1mm 以上の日数と日照時間

地点	日降水量 1mm 以上の日数		日照時間	
	日数	平年値（日）	時間（h）	平年比（%）
那 覇	25	22.7	326.3	110
名 護	28	24.1	344.8	119
久 米 島	22	23.2	363.1	123
南大東島	21	20.0	412.5	106
宮 古 島	19	20.5	364.4	107
石 垣 島	17	17.6	418.5	111
西 表 島	23	19.8	391.2	106
与那国島	25	21.2	338.6	104
沖縄地方				111

沖縄地方の平年比（地域平均平年比）は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の平年比の 7 地点平均である。

4 台 風

(1) 台風発生数と沖縄県への接近数¹

台風の発生数及び沖縄県への接近数を表 16 に示す。台風の発生数は平年並の 27 個（平年 25.1 個）で、沖縄県への年間接近数は 7 個（平年 7.7 個）だった。沖縄県に接近した台風と台風が接近した気象官署等²を表 17 に示す。また、沖縄県に接近した台風の経路図を図 1-1、図 1-2 に示す。

台風第 1 号の発生は 6 月 11 日となり 1951 年の統計開始以降 5 番目に遅い発生となった。台風の発生が抑制された要因として、春に台風が主に発生する北西太平洋の低緯度において高気圧性の循環となっていたためと考えられる。

その後は、夏から秋にかけて台風が主に発生する、より高い緯度で対流活動が活発だったため、7 月は統計開始以降 2 位タイの 7 個が発生するなど、7 月以降は平年より多くの台風が発生し、年間の発生数は平年並となった。

8 月から 9 月にかけては、台風の発生数は平年程度あったものの、沖縄県への接近数は平年よりも少なく、沖縄本島地方に接近した台風はなかった。台風が接近しにくかった要因は、フィリピンの東で海面水温が高く、対流活動が活発となったため、太平洋高気圧の張り出しが日本の南で平年より強かったことが影響していると考えられる。また年間を通して、沖縄地方は接近した台風の暴風域には入っておらず、沖縄地方で暴風警報の発表はなかった。

表 16 2025 年の台風の月間（年間）発生数及び沖縄県への月間（年間）接近数とその平年値

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
台風発生数	0	0	0	0	0	2	7	5	6	4	3	0	27
平年値	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.6	3.7	5.7	5.0	3.5	2.2	1.0	25.1
台風接近数	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	1	0	7
平年値	—	—	—	0.0	0.4	0.6	1.5	2.2	1.9	1.1	0.3	0.0	7.7

発生数・接近数は日本時間（JST）を基準にしている。

計算過程に四捨五入を含むため、月の平年値の合計と年の平年値は一致しない。

また、1 個の台風が複数の月にまたがって接近する場合があるため、1 月～12 月の接近数の合計と年間接近数は一致しない場合がある。

1 月～3 月の月間接近数の平年値にある“—”は、平年値の統計期間（1991 年～2020 年の 30 年間）に接近した台風が 1 個もなかったことを示す。

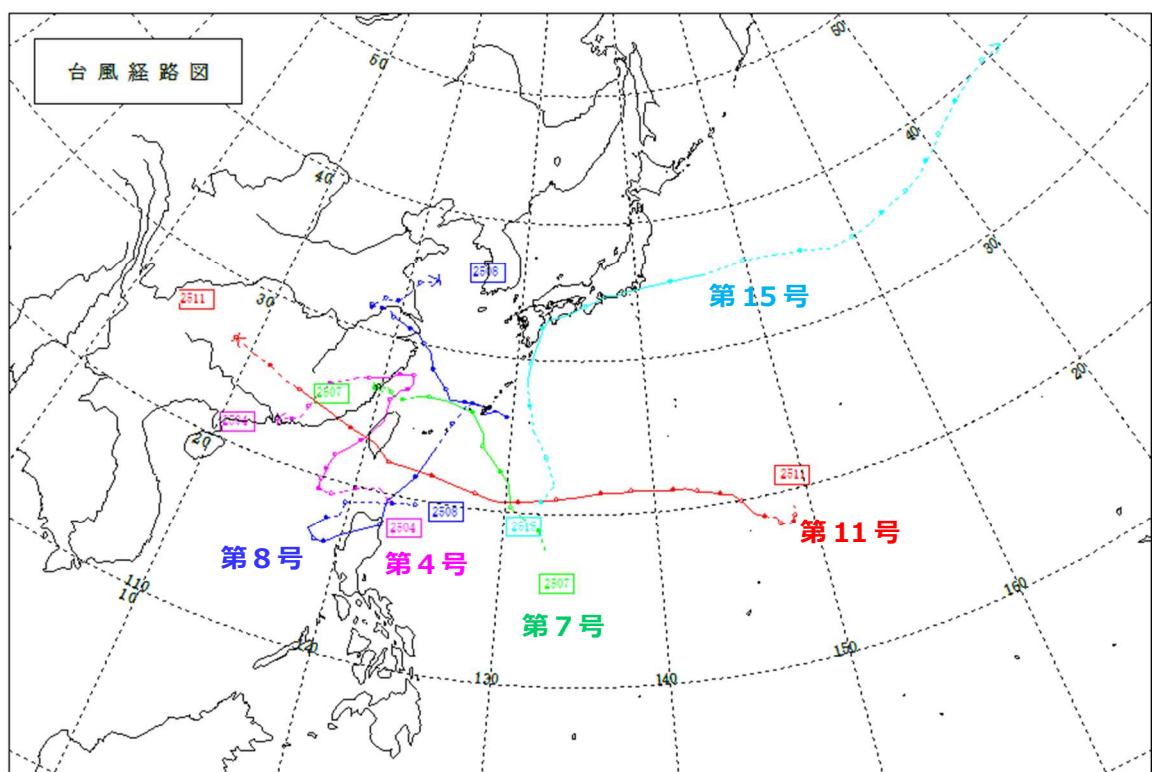
表 17 沖縄県に接近した台風

月	接近数	沖縄県に接近した台風	台風が接近した気象官署等
7 月	3 個	台風第 4 号	与那国島
		台風第 7 号	那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島
		台風第 8 号	那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島
8 月	1 個	台風第 11 号	石垣島、西表島、与那国島
9 月	1 個	台風第 15 号	南大東島
10 月	1 個	台風第 23 号	那覇、名護、南大東島
11 月	1 個	台風第 26 号	宮古島、石垣島、西表島、与那国島

1 月 14 日時点の速報値

¹ 沖縄県に接近した台風とは、台風の中心が那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入ったものをいう。

² 気象官署等とは、那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島の気象台または特別地域気象観測所のことを意味する。



経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示します。

図 1-1 沖縄県に接近した台風の経路図

図は台風第 4、7、8、11、15 号の経路図（確定値）。

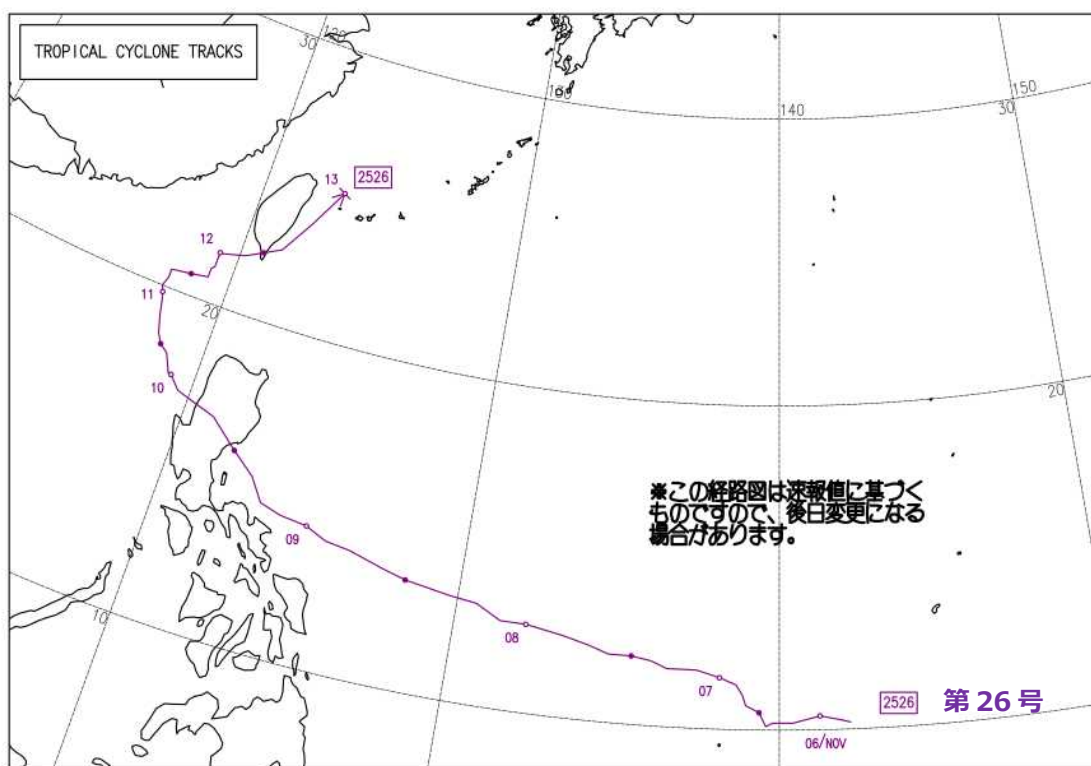
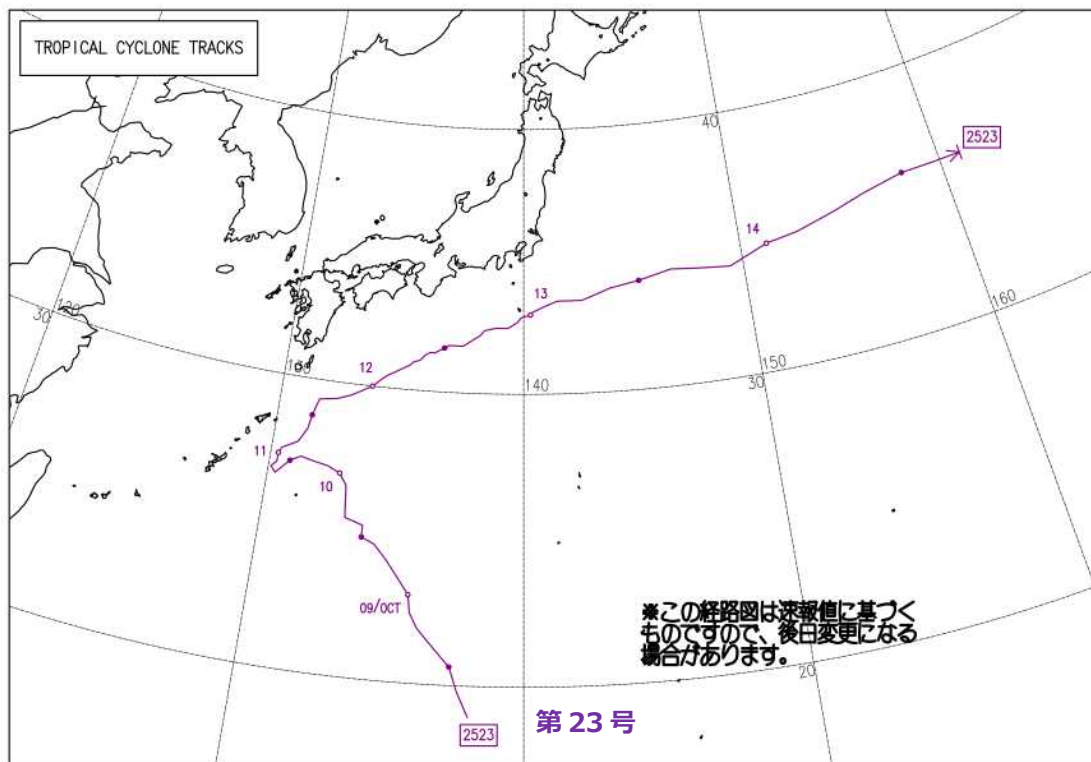


図 1-2 沖縄県に接近した台風の経路図

図は台風第 23、26 号の経路図（速報値）

(2) 気象概況および台風が接近した気象官署等の観測記録（最大風速の上位3位まで）

表中の期間は、雨の降り始めと降り終わりを日単位で示す。

① 台風第4号

7月4日21時に南シナ海で発生した台風第4号は、発達しながら北東に進み、6日15時には台湾の南西海上で中心気圧970hPa、最大風速35m/sの強い勢力となった。台風は、6日から7日にかけて強い勢力を維持しながら台湾付近を通過して東シナ海を北よりに進み、8日には東シナ海で進路を西よりに変え、9日に華中へ上陸し、熱帯低気圧に変わった。

	与那国島	石垣島	西表島
最低海面気圧	997.7 hPa	999.2 hPa	998.4 hPa
起時	7月8日 17時26分	7月8日 18時09分	7月8日 16時52分
最大風速	南 17.2 m/s	南 15.3 m/s	南南西 10.8 m/s
起時	7月7日 07時43分	7月7日 09時25分	7月7日 15時34分
最大瞬間風速	南 25.6 m/s	南 21.3 m/s	南南西 17.4 m/s
起時	7月7日 07時47分	7月7日 08時43分	7月7日 15時33分
期間降水量	96.0 mm	65.0 mm	50.0 mm
期間	7月6日 0時 ～ 8日 24時	7月6日 0時 ～ 8日 24時	7月6日 0時 ～ 8日 24時

② 台風第7号

7月23日9時に日本の南で発生した台風第7号は、発達しながら北西に進み、23日21時には中心気圧994hPa、最大風速20m/sで沖縄の南を北西に進んだ。その後、台風は、暴風域を伴わないまま24日には、沖縄本島の西の海上で進路を西より変え、久米島の南海上にさらに西に進み、25日15時に東シナ海で熱帯低気圧に変わった。

	那覇	与那国島	南大東島
最低海面気圧	992.2 hPa	994.7 hPa	999.8 hPa
起時	7月24日 19時42分	7月25日 03時48分	7月24日 16時10分
最大風速	東北東 15.6 m/s	北 14.7 m/s	東 13.3 m/s
起時	7月24日 13時13分	7月24日 12時51分	7月24日 07時04分
最大瞬間風速	東北東 27.3 m/s	北 20.0 m/s	東 26.2 m/s
起時	7月24日 13時06分	7月24日 12時42分	7月24日 06時28分
期間降水量	85.0 mm	16.0 mm	163.0 mm
期間	7月23日 0時 ～ 25日 24時	7月23日 0時 ～ 25日 24時	7月23日 0時 ～ 25日 24時

③ 台風第8号

7月23日21時に南シナ海で発生した台風第8号は、発達しながら東に進み、24日15時には中心気圧980hPa、最大風速30m/sの勢力でルソン島の西の海上に進んだ。その後、台風は、ルソン島付近で勢力を弱めて進路を北よりに変え、沖縄の南を北上し、26日3時には宮古島地方の南の海上で熱帯低気圧に変わった。

台風第8号から変わった熱帯低気圧は、26日には宮古島の近海を北東に進んだ後、沖縄本島の西の海上で進路を東に変えて進み、沖縄本島付近を通過して、27日15時に沖縄本島の東の海上で再び台風となった。

熱帯低気圧から再び台風となった台風第8号は、中心気圧990hPa、最大風速20m/sの勢力を維持しながらほとんど停滞した後、28日は進路を西よりに変え、沖縄本島を通過した後、29日から30日にかけて東シナ海を北西に進み、華中へ上陸して31日09時に熱帯低気圧に変わった。

	南大東島	石垣島	那覇
最低海面気圧	994.3 hPa	992.1 hPa	987.0 hPa
起時	7月28日 03時16分	7月29日 03時47分	7月28日 17時47分
最大風速	南南東 11.9 m/s	北西 10.1 m/s	南南東 9.9 m/s
起時	7月27日 14時07分	7月28日 14時08分	7月26日 20時56分
最大瞬間風速	南南東 20.2 m/s	北西 14.8 m/s	西北西 16.4 m/s
起時	7月27日 19時26分	7月28日 11時55分	7月27日 10時49分
期間降水量	614.5 mm	15.0 mm	124.0 mm
期間	7月25日 0時 ~ 30日 24時	7月25日 0時 ~ 30日 24時	7月25日 0時 ~ 30日 24時

④ 台風第 11 号

8月7日 21 時にマリアナ諸島で発生した台風第 11 号は、発達しながら西に進み、10 日 09 時には、日本の南で中心気圧 980hPa、最大風速 35m/s の強い勢力となった。台風は勢力を維持しながら日本から沖縄の南を西に進み、13 日は台湾付近で勢力を弱め、14 日に華南に上陸し、熱帯低気圧に変わった。

	与那国島	石垣島	宮古島
最低海面気圧	1006.5 hPa	1006.3 hPa	1006.9 hPa
起時	8月13日 05時32分	8月12日 18時21分	8月12日 18時48分
最大風速	南東 14.0 m/s	東 13.6 m/s	東南東 10.6 m/s
起時	8月13日 11時32分	8月13日 02時39分	8月13日 09時28分
最大瞬間風速	東南東 19.1 m/s	東 20.2 m/s	東北東 16.3 m/s
起時	8月13日 07時56分	8月13日 01時33分	8月12日 20時51分
期間降水量	0.5 mm	1.0 mm	2.5 mm
期間	8月12日 0時 ~ 13日 24時	8月12日 0時 ~ 13日 24時	8月12日 0時 ~ 13日 24時

⑤ 台風第 15 号

9月2日 21 時に日本の南で発生した熱帯低気圧は、9月3日には大東島地方の東海上を北上し、4日3時に奄美大島の東の海上で台風第 15 号となった。台風はやや発達しながら北上し、4日 21 時には進路を東よりに変え、暴風域を伴わないまま、5日には愛媛県に上陸した後、和歌山県に再び上陸し、東日本の太平洋沿岸を東に進み、日本の東に達した。

	南大東島
最低海面気圧	1005.5 hPa
起時	9月4日 02時19分
最大風速	西南西 7.9 m/s
起時	9月4日 04時27分
最大瞬間風速	西南西 12.0 m/s
起時	9月4日 04時19分
期間降水量	1.0 mm
期間	9月4日 0時 ~ 4日 24時

⑥ 台風第 23 号

10月8日 15 時にフィリピンの東で発生した台風第 23 号は北西に進み、暴風域を伴わないまま、10日には南大東島の東海上を通過して、沖縄本島地方の東海上に進んだ。台風は、11日には進路を北東に変えて進み、13日0時には四国の南で中心気圧 975hPa、最大風速 35m/s の強い勢力となった。台風は勢力を維持しながら伊豆諸島に接近し、14日に日本のはるか東に進んだ。

	南大東島	名護	那覇
最低海面気圧	1003.1 hPa	1007.7 hPa	1008.4 hPa
起時	10月10日 22時18分	10月11日 04時52分	10月11日 05時02分
最大風速	南南西 19.5 m/s	北北西 8.7 m/s	北西 7.9 m/s
起時	10月10日 22時26分	10月11日 10時25分	10月11日 10時09分
最大瞬間風速	南西 28.2 m/s	北西 14.4 m/s	北西 12.7 m/s
起時	10月10日 22時19分	10月11日 09時44分	10月11日 09時57分
期間降水量	124.0 mm	5.5 mm	6.5 mm
期間	10月9日 0時 ~ 11日 24時	10月9日 0時 ~ 11日 24時	10月9日 0時 ~ 11日 24時

⑦ 台風第 26 号

11 月 6 日 3 時にマリアナ諸島で発生した台風第 26 号は発達しながら西よりに進み、9 日 3 時には、フィリピンの東で中心気圧 950hPa、最大風速 45m/s の大型で非常に強い勢力となった。台風はルソン島付近で勢力を弱め、10 日には南シナ海に進んだ。その後、台風は進路を北よりに変え、12 日から 13 日にかけて台湾の東海上を北東に進み、13 日 9 時に与那国島の北の海上で温帯低気圧に変わった。

	与那国島	石垣島	宮古島
最低海面気圧	1001.4 hPa	1004.1 hPa	1003.5 hPa
起時	11月11日 06時27分	11月13日 14時45分	11月13日 17時27分
最大風速	北東 22.1 m/s	南南西 15.0 m/s	北北東 14.7 m/s
起時	11月11日 06時32分	11月13日 12時38分	11月13日 19時54分
最大瞬間風速	北 29.3 m/s	南南西 22.7 m/s	北東 23.5 m/s
起時	11月13日 10時47分	11月13日 12時57分	11月13日 19時49分
期間降水量	249.0 mm	109.5 mm	102.5 mm
期間	11月9日 0時 ~ 14日 24時	11月9日 0時 ~ 14日 24時	11月9日 0時 ~ 14日 24時

参 考 資 料

1 2025年の沖縄地方における旬平均気温・旬降水量・旬間日照時間の推移

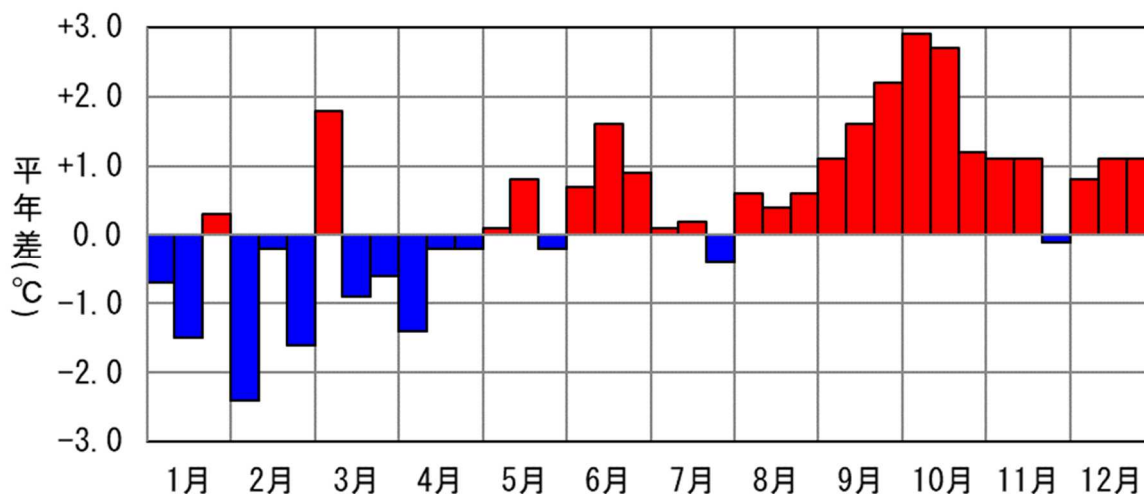


図2 旬平均気温の地域平均平年差の推移

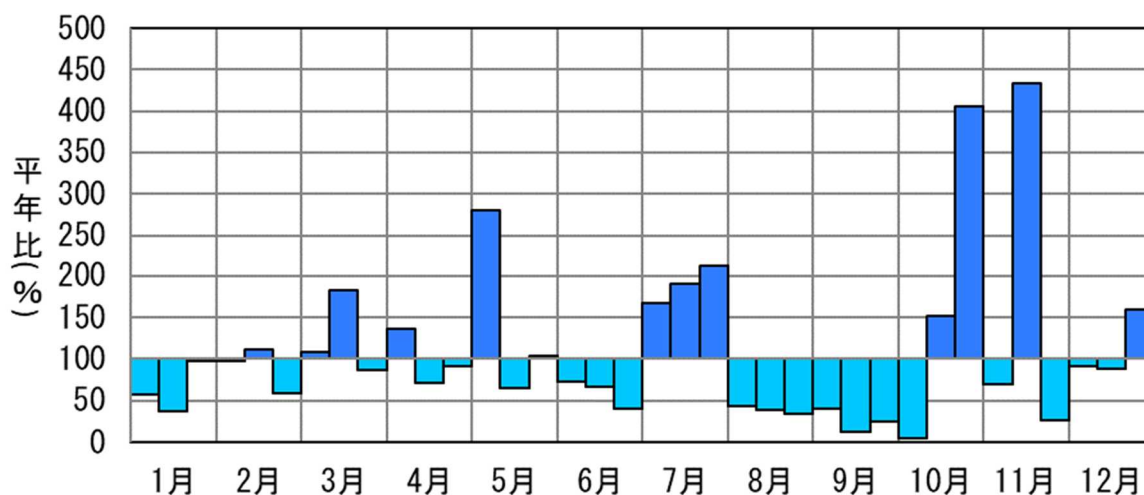


図3 旬降水量の地域平均平年比の推移

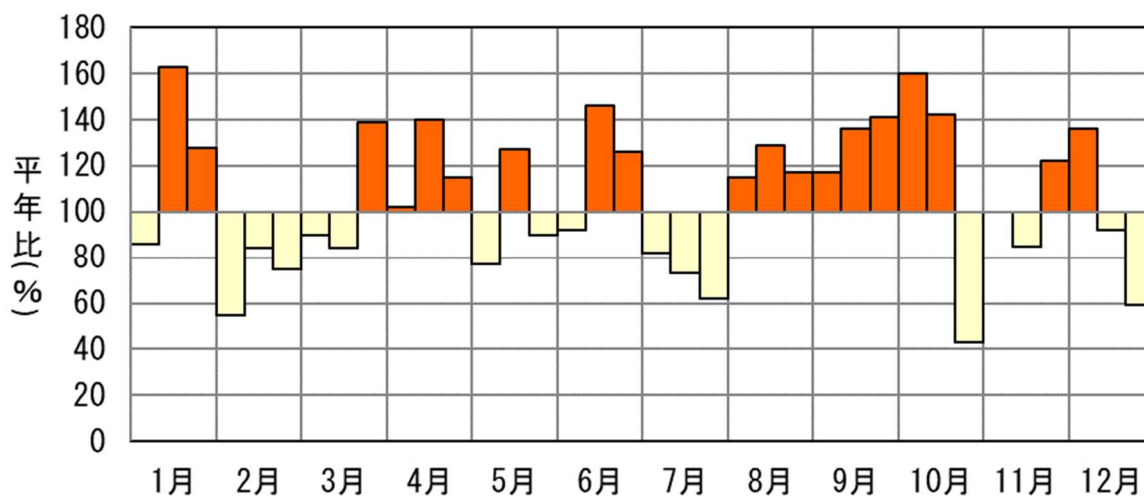


図4 旬間日照時間の地域平均平年比の推移

同一の月にある3本の棒グラフは左から順に上旬、中旬、下旬の地域平均平年差（比）を表している。

2 統計開始からの記録更新表

(那覇・名護・久米島・南大東島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島)

表18 月の統計値に関する統計開始からの記録更新表
(各地点での歴代3位まで、“*”はタイ記録を示す)

月平均気温の高い方から

月	順位	地点名	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	これまでの最高 (℃)	統計開始	平年値 (℃)
6月	2位	久米島	28.6*	+1.4	29.0 (2015年)	1959年 6月	27.2
6月	3位	名護	28.2	+1.3	28.6 (1991年)	1967年 6月	26.9
6月	3位	那覇	28.6	+1.4	28.8 (1991年)	1891年 6月	27.2
9月	1位	名護	29.4	+1.8	28.7 (2023年)	1966年 9月	27.6
9月	1位	那覇	29.7	+1.8	29.0 (2009年)	1890年 9月	27.9
9月	1位	久米島	29.7	+2.0	29.0 (2024年)	1958年 9月	27.7
9月	1位	宮古島	29.2	+1.6	28.9 (2024年)	1938年 9月	27.6
9月	1位	与那国島	29.0*	+1.5	29.0 (2014年)	1957年 9月	27.5
9月	2位	石垣島	29.8	+1.6	29.9 (2014年)	1897年 9月	28.2
9月	2位	西表島	28.7*	+1.1	28.8 (2017年)	1954年 9月	27.6
10月	1位	名護	27.5	+2.5	27.4 (2016年)	1966年 10月	25.0
10月	1位	那覇	28.0	+2.5	27.7 (2016年)	1890年 10月	25.5
10月	1位	久米島	27.8	+2.5	27.4 (2016年)	1958年 10月	25.3
10月	1位	宮古島	27.6	+2.1	27.5 (2024年)	1937年 10月	25.5
10月	1位	石垣島	28.1	+2.1	27.9 (2016年)	1897年 10月	26.0
10月	1位	西表島	27.4	+2.0	27.1 (2016年)	1954年 10月	25.4
10月	1位	与那国島	27.5	+2.1	27.0 (2016年)	1957年 10月	25.4
10月	2位	南大東島	27.7	+1.8	27.9 (2024年)	1942年 10月	25.9
12月	3位	久米島	20.2*	+1.2	20.7 (2016年)	1958年 12月	19.0

月降水量の多い方から

月	順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最大(mm)	統計開始	平年値 (mm)
7月	1位	南大東島	939.0	796	648.0 (1999年)	1942年 7月	118.0
10月	1位	西表島	697.0	327	624.0 (1970年)	1954年 10月	213.1
11月	1位	久米島	472.0	364	386.5 (2022年)	1958年 11月	129.6

月降水量の少ない方から

月	順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最少 (mm)	統計開始	平年値 (mm)
6月	2位	久米島	50.0	16	17.0 (1980年)	1959年 6月	307.4
8月	1位	宮古島	41.0	16	43.5 (2017年)	1938年 8月	257.4
8月	2位	西表島	51.5	18	37.5 (2008年)	1954年 8月	282.0
9月	1位	久米島	19.5	8	25.0 (1979年)	1958年 9月	235.6
9月	1位	与那国島	40.5*	14	40.5 (1972年)	1957年 9月	285.7

月最大24時間降水量

月	順位	地点名	降水量 (mm)	観測日	これまでの最大 (mm)	統計開始
7月	1位	南大東島	382.5	7月27日	203.5 (1949年)	1946年7月
10月	2位	西表島	326.5	10月22日	335.0 (1967年)	1957年10月
10月	3位	石垣島	319.0	10月22日	374.0 (2010年)	1900年10月
11月	1位	久米島	347.0	11月11日	218.0 (1971年)	1958年11月
11月	2位	与那国島	228.5	11月11日	467.6 (1967年)	1956年11月

月間日照時間の多い方から

月	順位	地点名	日照時間 (時間)	平年比 (%)	これまでの最大 (時間)	統計開始	平年値 (時間)
6月	3位	久米島	236.5	149	288.8 (1980年)	1959年6月	158.9
9月	1位	名護	244.4	133	229.4 (1985年)	1966年9月	183.4
9月	1位	久米島	280.6	141	253.6 (2023年)	1958年9月	198.6
9月	2位	与那国島	246.8	136	251.5 (1983年)	1957年9月	180.9

月間日照時間の少ない方から

月	順位	地点名	日照時間 (時間)	平年比 (%)	これまでの最少 (時間)	統計開始	平年値 (時間)
7月	1位	南大東島	144.0	52	181.4 (1999年)	1943年7月	277.8
7月	1位	与那国島	183.5	71	200.1 (1999年)	1957年7月	257.9
7月	3位	名護	161.3	68	138.9 (2010年)	1967年7月	235.7
7月	3位	那覇	162.9	72	146.2 (2010年)	1900年7月	227.0
7月	3位	宮古島	163.8	68	139.7 (1955年)	1938年7月	241.0

”]”付きの値は、資料不足値（統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている）を意味する。

※月平均気温の低い方からの記録更新は、該当なし

年間の記録

順位	地点名	要素	観測値	観測月	統計開始
1位	南大東島	月降水量の多い方から(mm)	939.0	7月	1942年2月

表19 日統計値に関する統計開始からの記録更新表
(各地点での歴代1位のみ、“*”はタイ記録を示す)

月別の記録

月	地点名	要素	観測値	観測日	統計開始
3月	名護	日最小相対湿度(%)	28*	3月22日	1972年3月
3月	那覇	日最低気温の高い方から(℃)	23.2*	3月27日	1891年3月
3月	西表島	日最低気温の高い方から(℃)	25.3	3月27日	1954年3月
3月	与那国島	日最低気温の高い方から(℃)	25.0*	3月27日	1957年3月
4月	石垣島	日最高気温の高い方から(℃)	31.4	4月23日	1897年4月
5月	那覇	日最高気温の高い方から	32.3	5月20日	1891年5月
7月	南大東島	日降水量(mm)	312.5	7月27日	1942年7月
9月	名護	日最高気温の高い方から(℃)	34.5	9月4日	1966年9月
10月	南大東島	日最高気温の高い方から(℃)	33.1	10月6日	1942年10月
10月	名護	日最高気温の高い方から(℃)	33.6	10月4日	1966年10月
10月	那覇	日最高気温の高い方から(℃)	34.2	10月3日	1890年10月
10月	久米島	日最高気温の高い方から(℃)	34.1	10月5日	1958年10月
10月	宮古島	日最高気温の高い方から(℃)	33.1	10月3日	1937年10月
10月	石垣島	日最高気温の高い方から(℃)	33.8	10月10日	1897年10月
10月	西表島	日最高気温の高い方から(℃)	34.0	10月4日	1954年10月
10月	南大東島	日最低気温の高い方から(℃)	28.0	10月7日	1942年10月
10月	那覇	日最低気温の高い方から(℃)	28.3	10月6日	1890年10月
10月	久米島	日最低気温の高い方から(℃)	28.2	10月7日	1958年10月
10月	宮古島	日最低気温の高い方から(℃)	28.2*	10月7日	1937年10月
10月	石垣島	日最低気温の高い方から(℃)	28.9	10月4日	1897年10月
11月	久米島	日降水量(mm)	248.0	11月11日	1958年11月

※年間の記録更新は、該当なし

表20 年の統計値に関する統計開始からの記録更新表
(各地点での歴代3位まで、“*”はタイ記録を示す)

年降水量の多い方から

順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最大 (mm)	統計開始	平年値 (mm)
2 位	南大東島	2433.0	148	2664.6 (1966 年)	1942 年	1639.3

年間日照時間の多い方から

順位	地点名	日照時間 (時間)	平年比 (%)	これまでの最大 (時間)	統計開始	平年値 (時間)
3 位	久米島	1945.8	113	2383.3 (1963 年)	1958 年	1717.8

※年平均気温の高い方から、年平均気温の低い方から、年降水量の少ない方から、年間日照時間の少ない方からの記録更新は、該当なし

表21 猛暑日、真夏日等の年間日数(各地点での歴代3位まで)および、
継続日数(各地点での歴代1位のみ)の記録更新表
(*はタイ記録を示す)

日最高気温30℃以上の日(真夏日)の年間日数

順位	地点名	2025年の 年間日数(日)	これまでの最多 (日)	統計開始	平年値 (日)
1位	名護	142	135(2016年)	1966年	99.4
1位	那覇	146	137(2016年)	1890年	102.5
1位	久米島	144	136(2016年)	1958年	101.5
1位	宮古島	145	136(2021年)	1937年	101.7
1位	西表島	146*	146(2021年)	1957年	108.3
2位	与那国島	141	146(2021年)	1956年	100.8

日最低気温25℃以上の日の年間日数

順位	地点名	2025年の 年間日数(日)	これまでの最多 (日)	統計開始	平年値 (日)
2位	名護	133	135(2016年)	1966年	96.0
2位	那覇	139	148(2016年)	1890年	107.3
2位	久米島	132	135(2016年)	1958年	98.2
2位	与那国島	141*	149(2016年)	1956年	111.9
3位	宮古島	148	161(2024年)	1937年	112.0
3位	西表島	140	147(2016年)	1957年	106.3

日最高気温30℃以上の日(真夏日)の継続日数

地点名	継続日数(日)	継続期間	統計開始
与那国島	91	7月20日～10月18日	1956年
西表島	91	7月20日～10月18日	1954年
久米島	87	7月25日～10月19日	1958年

日最低気温25℃以上の継続日数

地点名	継続日数(日)	継続期間	統計開始
宮古島	104	7月7日～10月18日	1937年

※日最高気温35℃以上の日(猛暑日)の年間日数、日最高気温35℃以上の日の継続日数(歴代1位)の記録更新は、該当なし

3 生物季節観測表（那覇、南大東島、宮古島、石垣島）

表22 生物季節観測表

観測場所	種 別 （代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
那覇	さくら（ひかんざくら）	開花	1月5日	1月16日	1月13日	-11	12月28日	2月8日
宮古島	さくら（ひかんざくら）	開花	1月6日	1月17日	1月5日	-11	12月30日	2月7日
那覇	うめ	開花	1月7日	1月13日	1月19日	-6	12月22日	2月5日
石垣島	うめ	開花	1月17日	1月11日	1月17日	+6	12月16日	2月10日
石垣島	さくら（ひかんざくら）	開花	1月22日	1月18日	1月22日	+4	12月19日	2月20日
宮古島	さくら（ひかんざくら）	満開	2月4日	2月9日	2月2日	-5	1月23日	3月2日
南大東島	さくら（ひかんざくら）	開花	3月3日	1月20日	2月16日	+42	1月4日	3月3日
南大東島	すすき	開花	11月4日	10月24日	10月28日	+11	9月18日	11月13日
宮古島	すすき	開花	11月4日	10月25日	10月28日	+10	10月4日	11月6日
石垣島	すすき	開花	11月4日	10月6日	11月5日	+29	6月26日	11月5日
那覇	すすき	開花	11月6日	10月16日	10月25日	+21	8月1日	11月6日

平年差の”－”は発現が平年に比べて早く、”＋”は発現が平年に比べて遅いことを示す。
 年をまたいで観測した種目については、前年の観測も含んでいる。